

天授ヶ岡教会 ゴスペルだより 02

Gospel news from Tenjugaoka Church



ごあいさつ

教会と言えば何を思い浮かべられるでしょうか？十字架を掲げた建物でしょうか。しかし教会とは本来、キリストの救い（ゴスペル）を求め、信じ、神の子とされた者の交わりを言い



同じく天授ヶ岡教会と天授ヶ岡幼稚園の営みを始められた福田八重先生。

ます。また新たにキリストを求めて来られる方々もこの交わりの中にあります。

十字架を掲げた建物は便宜上

教会と言いますが、厳密には教会堂ということになります。二千年前、教会が生まれて間もない頃、教会堂はなく、それぞれの家庭を開放して集まり、賛美し祈り聖書の言葉を分かち合い、食事を共にしていました。その交わりが礼拝で

した。教会は、キリストの命が脈々と受けつがれる、キリストを中心とした交わりです。その交わりが、天授ヶ岡の地に受けつがれ、天授ヶ岡教会と天授ヶ岡幼稚園の営みとして今日に至っています。

私たちはさらに多くの方々に、また次代を担う方々にキリストの命を分かち合いたく、ゴスペルと私たちの営みをご紹介します。

キリストの命とその交わりは次の人々へ、さらに子供たちへ。



天授ヶ岡教会と天授ヶ岡幼稚園の営みを始められたドロシー・エレン・ホーア先生。



メッセージ



「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。」(新約聖書 ヨハネによる福音書第14章6節)

私は時折登山に出かけます。まず登山口。広い階段で始まっていたりします。登るにつれ道は狭く険しくなります。しかし道しるべが「こちらは沢。こちらが頂上」と間違いなく案内してくれます。「ここは何合目。あと何分」と励ましてくれます。そしてついに頂上。自分の足で登っていただく空気、お弁当、眺めは格別。自分の足で確かに登りました。しかし誰かが先に道をつけてくれたから登れた、と言えるのです。

天国への道をつけてくれたのはキリストです。上の聖書の言葉はキリストの言葉。縮めれば「**わたしが道だ。わたしによって誰でも天国へ行ける**」。キリストは天から下って(クリスマス)、全人類の罪の重い荷物を身代わりに背負って、十字架で死んでよみがえり(イースター)、天に上られました。私たちの側からどんなものを持ってしてもつけられない天国への道を、神様の側からキリストが下って上ってつけて下さいました。

ではどうしたらこの道を歩めるか？まず天国へ入れない罪の重い荷物が自分にあることを認めるのです。罪の重い荷物は私のどんなものを持ってしても解くことはできません。次にキリストの十字架がそれを取り除いてくれると信じるのです。すると全人類のための十字架があなた個人に適用され、あなたは罪の重い荷物から解かれるのです。十字架が入り口。その道は日常生活。今までとそんなに変わりません。違うのは道しるべがあること。それがキリストの真理。聖書の言葉。それを頼りに進み続けるのです。死という誰もが迎える難所はありますが、それを過ぎれば天国。その後に復活があり、新しい天と地での生活が待っています。キリストはそこまで導いてくれる、あなたの命の道。キリストの道に迷いはありません。

天授ヶ岡教会の営み

礼拝は、神の家族の団らんの場、憩いの場、成長の場です。また新しいみなさんを歓迎する場です。オーソドックスな礼拝だけではなく、お茶やお食事を

囲んでの礼拝
もあります。

賛美が、ゴスペソングです。

クラシカルな
ものからコン
テンポラリー

なものまで、オルガン
演奏からギターやドラム

を使ったものまでいろいろ楽しんでいます。

小学生の

お友達の洗礼式。
神の子としての
産声を上げました。

なものまで、オルガン
演奏からギターやドラム

を使ったものまでいろいろ楽しんでいます。



イースター礼拝。
信仰の先輩たちを偲びつつ、
天国の希望を分かち合う
ひととき。



祈りは、堅苦しいものではありません。気負わず、何でも打ち明ける神様との語らい、そして神の家族の語らいの時です。そしてそのような **交わり**こそ教会の営みの本質です。

カフェ礼拝の時の様子。 礼拝も、賛美も、祈りも、神の家族の交わりです。神様と私、そして私たちお互い、さらには新しく来て下さるみなさん

との交わり
です。

カフェ
礼拝の
時の様子。



天授ヶ岡
幼稚園の
花の日
礼拝。

教会は千客万来の神の家。
あなたの家でもあるのです。



集会案内

日曜日 教会学校・賛美タイム
9:00~10:00
礼拝 10:30~11:30
水曜日 祈禱会 14:00~15:00

※聖書の学びや相談受付もいたします。
※エホバの証人やものみの塔、統一協会など
でお困りの方はご連絡下さい。



アクセス

日本イエス・キリスト教団

天授ヶ岡教会

牧師 内田 純



京福電鉄嵐山線「妙心寺駅」から
徒歩5分。お隣は天授ヶ岡幼稚園。
駐車場がありませんので
公共交通機関をご利用下さい。

〒616-8021

京都市右京区花園天授ヶ岡町 10-28

TEL&FAX 075-463-3209

E-mail tenjuch-1948@oasis.ocn.ne.jp

ホームページ <http://tenjugaoka9561.ec-net.jp/tenjuch/>

